

10年先、20年先、・・・100年先を見据えた夢ある“まちづくり”

☆ “岩野田まちづくり協議会”が発足して1年と9ヶ月、コロナ禍の中、明るい未来の岩野田を創造し活動しています。

現在、まちづくり協議会は、自治会の全面的な協力のもと、地域住民に“10年後のわがまちを見据えたアンケートを実施中”です。より、多くの方々の意見を集約し、地域住民と行政が一体となり、夢あるまちづくりを進めたいと思います。

岐阜市の全面的なご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

【岩野田の課題】

- 1 自治会への加入率が60%を割る。(4割以上が未加入。広報等が配付されない。)
高齢者の辞退が加速している。(班長等、自治会に協力できない。)
新居住者の加入が鈍化。(自治会に加入しても良いことがない。)
- 2 人口減少、高齢化率の上昇(世帯数は減らないが人口減少⇒独居老人の増加)
地域との交流を控える傾向にある。
- 3 空家の増加傾向
単身世帯や夫婦のみの世帯が多い“三田洞団地”や“旧家”、後継者が居住しない。
- 4 自然豊かな岩野田ではあるが、健康寿命を延ばすための工夫・整備がなされていない。
健康寿命を延ばすためには、自然とのふれあい、地域との関わりが必要。
東海自然歩道と河川堤防、憩いの場所等を使ったまちづくり。
- 5 「市街化区域」の岩野田、区画整理が十分なされないまま宅地造成がなされている。
普通車1台がやっと通れるか通れない場所が多い。大雨が降ると排水しない所多い。
地震や風水害、火災等の災害が起こったとき、道路が狭すぎ、救助に支障が出る。
道幅が狭く、コミバスの入れない所が多い。(とりあえず、小型車の運行を行う)
- 6 岩野田の自慢できる、歴史・文化・行事等が十分伝わっていない。
岩野田の歴史を知る人が少ない。
地域を盛り上げる組織がほとんど無い状況。仕切る人がいない？
- 7 その他
 - ・他地区のコミバスも利用しやすくしてほしい。(時間や金額等)
 - ・地域の公民館、地域が利用しやすい公民館(利用規程等)にしてほしい。

<具体策等>

【その1】市民税と共に自治会費の徴収(環境税と同じように、“まちづくり税”として)

- ・自治会やまちづくり協議会役員の負担軽減
- ・自治会加入率が60%切る、全員に伝えるには? ⇒ 全員加入(市税と一緒に集める)
- ・自治会やまち協、各種団体の役員は地域のため多くの時間を費やしている。
(ボランティアの域をはるかに超えている。また、役員の高齢化。反面、生きがいから重荷に?)

【その2・3】高齢者にやさしい地域(含 住宅と空き家対策)

- ・高齢者の敵⇒坂道、上層階、階段、段差、他
- ・三田洞団地や旧家等の空き家、空き地の再開発と利用
跡継ぎとの同居が難しい旧団地計画、高齢者共同住宅の建設と旧住宅の再開発(市住宅再開発)
- ・跡継ぎのいない住宅の活用方法⇒生前に対応策(処分方法等)を書き残す。(条例化)
空家対策 ⇒ 行政主導、自治会協力による事前持ち家調査(将来、持ち家をどうしたいか)
老人ホーム等への入居後の持ち家は? 老後計画を義務付け
- ・シニア世代の地域貢献とまちづくり・人づくり (延健康寿命)
子育て文教地区、縦の繋がり強化、シニア世代の教育参加、地産地消、高校生等とのコラボ

【その4】山紫水明『大自然との共存・共栄』(延健康寿命日本一)

- ・健康ウォーキングコースの設置:百々ヶ峰、鳥羽川、眉山(畜産センター)などを拠点にコース設定。
岩野田近隣も含めた広範囲のコース設定。市の予算化
東海自然歩道周辺の山林、空き地、空家等の再開発
- ・岐阜薬科大学跡地利用 ⇒ 市民が集えるまちづくり
健康寿命日本一を目指した施設等(薬・薬草の博物館、健康づくりプログラム・施設、他、
「健康」を特化した企業(製薬、飲料、漢方等)の誘致と健康づくり

【その5】市街化区域としての再都市計画 (災害に強い地域)

- ・自然との共存・共生を考慮した都市計画
- ・自然災害、交通安全、防犯、火災予防等を考慮した都市計画
- ・2~3m 道路を5m 以上の都市計画道路に、全ての交差点に隅切りをつける。
- ・拡幅(セッパック)が難しい場所は都市計画で条例化、また、すれ違う場所確保 ⇒ コミバス運行
- ・東海環状道の3つのインターとのアクセス道路の整備
- ・危険地域に住まない。ハザードマップの活用⇒S51年水害時の浸水深の表示、掲示板の設置等
- ・避難所開設時の係 ⇒ 自治会・各種団体の協力体制強化
- ・防災避難訓練の見直し ⇒ 異年齢、家族、多人数参加、「見て、聞いて、体験する訓練」

【その6】地域の歴史・文化・行事の伝承

- ・地域で育てる子どもたち、教育⇒郷土愛、モラル、他
- ・退職者世代の地域貢献 得意分野を地域で発揮(NPO設立も考える)
- ・“岩野田のみどころ”⇒自治会掲示板の活用(古く掲示板の役目を果たしていない所あり。)再設置
- ・“岩野田を語る会”の復活 ⇒ 講演会等の定期開催